

親鸞の信と実践

うじ かずたか

宇治和貴著

▼A5判・上製カバー・320頁・定価三、三〇〇円

2021年9月刊行



親鸞の説いた浄土真宗とは、どのような実践をもたらす宗教か？
親鸞における他力思想の根幹をなす本願力廻向の信にもとづいた、慈悲の実践を志向する主体の成立構造とその具体的展開を明らかにする。

【目次】

序章 真宗実践論研究の課題
——真俗二諦の信仰理解の克服

第一部 親鸞における信と社会

第一章 親鸞における信仰の構造と実践の関係

第二章 親鸞の宗教的・社会的立場
——神祇不帰依の意義

第三章 親鸞の救済における神祇不帰依の意義

第四章 親鸞の歴史観における信の意義

第二部 親鸞における信と実践

第一章 親鸞における伝道という実践の具体的把握
——「非僧非俗」を手掛かりにして

第二章 親鸞の信と自然法爾
——廻向によって成立する実践主体

第三章 親鸞における仏道把握

結 章 親鸞における実践論の本質
——実践がもたらす倫理

◆著者略歴

一九七五年熊本県生まれ。二〇〇一年龍谷大学文学研究科修士課程真宗学専攻修了、二〇〇四年龍谷大学文学研究科博士後期課程国史学専攻単位取得満期退学。龍谷大学非常勤講師を経て、現在筑紫女学院大学准教授、九州龍谷短期大学非常勤講師、武蔵野大学仏教文化研究所客員研究員。文学修士（龍谷大学）。

共編著に『真宗の歴史的研究』（永田文昌堂、二〇一一年）。共著に『歴史のなかの仏教』（永田文昌堂、二〇二二年）、『国際社会と日本仏教』（丸善書店、二〇二〇年）、『地球と人間のつながり——仏教の共生観』（法藏館、二〇一一年）などがある。

主な論文に「クイア仏教学」の構築にむけて」（『龍谷大学アジア仏教文化研究センター』二〇二〇年報告書）、二〇二〇年、「仏教からの「マイノリティスタディ」への視座・序論」（『筑紫女学院大学教育実践研究』第3号、二〇一七年）。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
法藏館	宇治和貴著
定価三、三〇〇円	親鸞の信と実践
住所	ISBN: 978-4-8318-3844-5 C3015
お名前	お電話

ご注文はFAX: 075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

真宗・仏教